

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅣ（Seminar Ⅳ）		
ナンバリングコード	E41204	大分類／難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目／総合レベル ゼミナール
単位数	4	配当学年／開講期	4 年／ 通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002725	クラス名	阿部ゼミ
担当教員名	阿部 裕香里		
履修上の注意、 履修条件	皆がゼミに参加しているという意識を強く持ち、発言を必ず行いましょう。最初は、気恥ずかしいかもしれませんが、発言する自分に自信を育んでいきましょう。無断欠席は、控えて下さい。事前に欠席の旨を伝えること、言えない事情や悩みがある場合は相談して下さい(個人の情報は死守します)。		
教科書	学生の状況により複数の書籍を使用、紹介します。		
参考文献及び指定図書	石黒圭(2012)『論文・レポートの基本』日本実業出版社。		
関連科目	経営組織論A、経営組織論B、ビジネスコミュニケーション論		

○基本情報		
授業の目的	本ゼミでは、経営組織論やキャリアデザイン、組織コミュニケーションを中心に企業の問題や課題を見つけ、調査、分析を行い、プレゼンテーションや論文の完成を最終目標とする。ゼミでは、個人が企業の問題解決にそれぞれ興味を持ち、調査し、結論を出すことが求められる。発表、ディベート、論文の作成をすることで人に調査の結果を分かりやすく伝えることを目指す。	
授業の概要	経営組織論や実際の企業動向について自身で知識を身に着け、自身でテーマを選択し調査を行う。また、同時に得た知識を人に分かりやすく説明する「プレゼンテーション」や「レポート、論文」の技術の習得を行う。得た知識を自身のキャリアデザインや将来組織に属した際にも活用が可能である。ゼミナールⅣでは、これまで自分が立てたリサーチデザインを元に調査を行い、その結果をまとめること、考察を行うこと、最終的な成果として卒業論文を作成し、成果を発表することを行う。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	ゼミでの発言、興味関心の強さ、問題解決へ真摯に取り組むことができる		20点	
【知識・理解】	自分で選んだテーマに関する深い知識の習得ができる		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	人に分かりやすく、見やすく、説明することができる			30点
【思考・判断・創造】	資料や証拠を元に自身の考えを持ち、課題解決を行うことができる			30点
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
受講態度、ゼミでの発言、レポート、プレゼン資料内容、発表態度を評価する。 S(100-90点): 特に優れた成績を表す。 A(89-80点): 優れた成績を表す。 B(79-70点): 妥当と認められる成績を表す。 C(60-69点): 合格と認められる最低限の成績を表す。 D(59点以下): 合格と認められる最低限の成績に達していないことを表す。再試験受験可能。 E(59点以下): 合格と認められる最低限の成績に達していないことを表す。再試験受験を認めない。				
○その他				
授業最後に実施する中間発表会で必ず発表する必要がある。 4年生は、11月までに卒業論文(8000字以上)と発表資料を提出する必要がある。				

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	ゼミナールⅣ（Seminar Ⅳ） 阿部 裕香里	授業コード	E002725
学修内容				
1. オリエンテーション 前期のゼミナールⅣについて今後の計画について説明をします。				
予習 シラバスの確認を行う。				
復習 今後の方針を確認する。				
2. 卒業論文指導―グループ① 各自研究テーマについて調べてきたことを1人、もしくは1グループ30分で発表を行います。発表された内容に対し、方向性の指導や質疑応答により調査内容を深めていきます。				
予習 発表する人は発表資料を作成する。それ以外の人は、自分のテーマについて調べ学習を行う。				
復習 発表者は、質疑応答、指摘、今後の方向をまとめる。発表者以外は、本日のゼミで学んだことをまとめる。				
3. 卒業論文指導―グループ② 各自研究テーマについて調べてきたことを1人、もしくは1グループ30分で発表を行います。発表された内容に対し、方向性の指導や質疑応答により調査内容を深めていきます。				
予習 発表する人は発表資料を作成する。それ以外の人は、自分のテーマについて調べ学習を行う。				
復習 発表者は、質疑応答、指摘、今後の方向をまとめる。発表者以外は、本日のゼミで学んだことをまとめる。				
4. 卒業論文指導―グループ③ 各自研究テーマについて調べてきたことを1人、もしくは1グループ30分で発表を行います。発表された内容に対し、方向性の指導や質疑応答により調査内容を深めていきます。				
予習 発表する人は発表資料を作成する。それ以外の人は、自分のテーマについて調べ学習を行う。				
復習 発表者は、質疑応答、指摘、今後の方向をまとめる。発表者以外は、本日のゼミで学んだことをまとめる。				
5. 卒業論文指導―グループ④ 各自研究テーマについて調べてきたことを1人、もしくは1グループ30分で発表を行います。発表された内容に対し、方向性の指導や質疑応答により調査内容を深めていきます。				
予習 発表する人は発表資料を作成する。それ以外の人は、自分のテーマについて調べ学習を行う。				
復習 発表者は、質疑応答、指摘、今後の方向をまとめる。発表者以外は、本日のゼミで学んだことをまとめる。				
6. 卒業論文指導―グループ⑤ 各自研究テーマについて調べてきたことを1人、もしくは1グループ30分で発表を行います。発表された内容に対し、方向性の指導や質疑応答により調査内容を深めていきます。				
予習 発表する人は発表資料を作成する。それ以外の人は、自分のテーマについて調べ学習を行う。				
復習 発表者は、質疑応答、指摘、今後の方向をまとめる。発表者以外は、本日のゼミで学んだことをまとめる。				
7. 卒業論文指導―予備日 各自研究テーマについて調べてきたことを1人、もしくは1グループ30分で発表を行います。発表された内容に対し、方向性の指導や質疑応答により調査内容を深めていきます。卒業論文指導が都合によりできなかった人達は予備日に行う。				
予習 発表する人は発表資料を作成する。それ以外の人は、自分のテーマについて調べ学習を行う。				
復習 発表者は、質疑応答、指摘、今後の方向をまとめる。発表者以外は、本日のゼミで学んだことをまとめる。				
8. 卒業論文指導―グループ① 各自研究テーマについて調べてきたことを1人、もしくは1グループ30分で発表を行います。発表された内容に対し、方向性の指導や質疑応答により調査内容を深めていきます。				
予習 発表する人は発表資料を作成する。それ以外の人は、自分のテーマについて調べ学習を行う。				
復習 発表者は、質疑応答、指摘、今後の方向をまとめる。発表者以外は、本日のゼミで学んだことをまとめる。				

○授業計画	科 目 名 担当教員	ゼミナールⅣ（Seminar Ⅳ） 阿部 裕香里	授業コード	E002725
学修内容				
9. 卒業論文指導―グループ② 各自研究テーマについて調べてきたことを1人、もしくは1グループ30分で発表を行います。発表された内容に対し、方向性の指導や質疑応答により調査内容を深めていきます。				
予習 発表する人は発表資料を作成する。それ以外の人は、自分のテーマについて調べ学習を行う。				
復習 発表者は、質疑応答、指摘、今後の方向をまとめる。発表者以外は、本日のゼミで学んだことをまとめる。				
10. 卒業論文指導―グループ③ 各自研究テーマについて調べてきたことを1人、もしくは1グループ30分で発表を行います。発表された内容に対し、方向性の指導や質疑応答により調査内容を深めていきます。				
予習 発表する人は発表資料を作成する。それ以外の人は、自分のテーマについて調べ学習を行う。				
復習 発表者は、質疑応答、指摘、今後の方向をまとめる。発表者以外は、本日のゼミで学んだことをまとめる。				
11. 卒業論文指導―グループ④ 各自研究テーマについて調べてきたことを1人、もしくは1グループ30分で発表を行います。発表された内容に対し、方向性の指導や質疑応答により調査内容を深めていきます。				
予習 発表する人は発表資料を作成する。それ以外の人は、自分のテーマについて調べ学習を行う。				
復習 発表者は、質疑応答、指摘、今後の方向をまとめる。発表者以外は、本日のゼミで学んだことをまとめる。				
12. 卒業論文指導―グループ⑤ 各自研究テーマについて調べてきたことを1人、もしくは1グループ30分で発表を行います。発表された内容に対し、方向性の指導や質疑応答により調査内容を深めていきます。				
予習 発表する人は発表資料を作成する。それ以外の人は、自分のテーマについて調べ学習を行う。				
復習 発表者は、質疑応答、指摘、今後の方向をまとめる。発表者以外は、本日のゼミで学んだことをまとめる。				
13. 卒業論文指導―予備日 各自研究テーマについて調べてきたことを1人、もしくは1グループ30分で発表を行います。発表された内容に対し、方向性の指導や質疑応答により調査内容を深めていきます。卒業論文指導が都合によりできなかった人達は予備日に行う。				
予習 発表する人は発表資料を作成する。それ以外の人は、自分のテーマについて調べ学習を行う。				
復習 発表者は、質疑応答、指摘、今後の方向をまとめる。発表者以外は、本日のゼミで学んだことをまとめる。				
14. 中間発表会① これまで調べてきたことを卒業論文発表会の形式にそって発表してもらう。発表時間は、1人7分、質疑応答5分。発表者は、7名。				
予習 発表資料を用意し、プレゼンテーションの準備を行う				
復習 質疑応答で貰ったコメントを元に卒業論文をどのように修正、改善していくかについてまとめる				
15. 中間発表会② これまで調べてきたことを卒業論文発表会の形式にそって発表してもらう。発表時間は、1人7分、質疑応答5分。発表者は、7名。				
予習 発表資料を用意し、プレゼンテーションの準備を行う				
復習 質疑応答で貰ったコメントを元に卒業論文をどのように修正、改善していくかについてまとめる				
16. 定期試験はありません。				
予習				
復習				

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	ゼミナールⅣ（Seminar Ⅳ） 阿部 裕香里	授業コード	E002725
学修内容				
17. オリエンテーション 前期のゼミナールⅣについて今後の計画について説明をします。				
予習 シラバスの確認を行う。				
復習 今後の方針を確認する。				
18. 卒業論文指導—グループ① 各自研究テーマについて調べてきたことを1人、もしくは1グループ30分で発表を行います。発表された内容に対し、方向性の指導や質疑応答により調査内容を深めていきます。				
予習 発表する人は発表資料を作成する。それ以外の人は、自分のテーマについて調べ学習を行う。				
復習 発表者は、質疑応答、指摘、今後の方向をまとめる。発表者以外は、本日のゼミで学んだことをまとめる。				
19. 卒業論文指導—グループ② 各自研究テーマについて調べてきたことを1人、もしくは1グループ30分で発表を行います。発表された内容に対し、方向性の指導や質疑応答により調査内容を深めていきます。				
予習 発表する人は発表資料を作成する。それ以外の人は、自分のテーマについて調べ学習を行う。				
復習 発表者は、質疑応答、指摘、今後の方向をまとめる。発表者以外は、本日のゼミで学んだことをまとめる。				
20. 卒業論文指導—グループ③ 各自研究テーマについて調べてきたことを1人、もしくは1グループ30分で発表を行います。発表された内容に対し、方向性の指導や質疑応答により調査内容を深めていきます。				
予習 発表する人は発表資料を作成する。それ以外の人は、自分のテーマについて調べ学習を行う。				
復習 発表者は、質疑応答、指摘、今後の方向をまとめる。発表者以外は、本日のゼミで学んだことをまとめる。				
21. 卒業論文指導—グループ④ 各自研究テーマについて調べてきたことを1人、もしくは1グループ30分で発表を行います。発表された内容に対し、方向性の指導や質疑応答により調査内容を深めていきます。				
予習 発表する人は発表資料を作成する。それ以外の人は、自分のテーマについて調べ学習を行う。				
復習 発表者は、質疑応答、指摘、今後の方向をまとめる。発表者以外は、本日のゼミで学んだことをまとめる。				
22. 卒業論文指導—グループ⑤ 各自研究テーマについて調べてきたことを1人、もしくは1グループ30分で発表を行います。発表された内容に対し、方向性の指導や質疑応答により調査内容を深めていきます。				
予習 発表する人は発表資料を作成する。それ以外の人は、自分のテーマについて調べ学習を行う。				
復習 発表者は、質疑応答、指摘、今後の方向をまとめる。発表者以外は、本日のゼミで学んだことをまとめる。				
23. 卒業論文指導—予備日 各自研究テーマについて調べてきたことを1人、もしくは1グループ30分で発表を行います。発表された内容に対し、方向性の指導や質疑応答により調査内容を深めていきます。				
予習 発表する人は発表資料を作成する。それ以外の人は、自分のテーマについて調べ学習を行う。				
復習 発表者は、質疑応答、指摘、今後の方向をまとめる。発表者以外は、本日のゼミで学んだことをまとめる。				
24. 卒業論文修正作業 卒業論文提出前に最後の確認と修正作業を行う。各自印刷してきた卒業論文のコピーを持参して、表記や体裁に間違いがないかチェックする。				
予習 自分が作成した卒業論文を印刷していくる。				
復習 訂正を指摘した箇所を修正する。				

○授業計画	科 目 名 担当教員	ゼミナールⅣ（Seminar Ⅳ） 阿部 裕香里	授業コード	E002725
学修内容				
25. 卒業論文修正作業 卒業論文提出前に最後の確認と修正作業を行う。各自印刷してきた卒業論文のコピーを持参して、表記や体裁に間違いがないかチェックする。				
予習 自分が作成した卒業論文を印刷していくる。				
復習 訂正を指摘した箇所を修正する。				
26. 卒業論文修正作業 卒業論文提出前に最後の確認と修正作業を行う。各自印刷してきた卒業論文のコピーを持参して、表記や体裁に間違いがないかチェックする。				
予習 自分が作成した卒業論文を印刷していくる。				
復習 訂正を指摘した箇所を修正する。				
27. プレゼンテーション① 作成した卒業論文をみんなの前で発表してもらいます。				
予習 発表資料を作成し準備してくる。				
復習 卒業論文評価シートを作成すること。				
28. プレゼンテーション② 作成した卒業論文をみんなの前で発表してもらいます。				
予習 発表資料を作成し準備してくる。				
復習 卒業論文評価シートを作成すること。				
29. プレゼンテーション③ 作成した卒業論文をみんなの前で発表してもらいます。				
予習 発表資料を作成し準備してくる。				
復習 卒業論文評価シートを作成すること。				
30. プレゼンテーション④ 作成した卒業論文をみんなの前で発表してもらいます。				
予習 発表資料を作成し準備してくる。				
復習 卒業論文評価シートを作成すること。				
31. プレゼンテーション⑤ 作成した卒業論文をみんなの前で発表してもらいます。				
予習 発表資料を作成し準備してくる。				
復習 卒業論文評価シートを作成すること。				
32. 定期試験はありません。				
予習				
復習				